

新型コロナウイルス感染症による収益の減など

議案第97号 令和2年度加西市病院事業会計補正予算（第2号）について

◆議案の内容

【収入】・入院収益 △7,744万1,000円
 ・外来収益 △1億6,048万2,000円
 ・その他医業収益 △3,305万4,000円
 人間ドック収益等の減

【支出】・経費 △2,800万円
 一部業務を外部委託から直営にしたこと
 による委託料の減

◆質 疑

問 新型コロナウイルス感染者が増えている状況での加西病院の対応は。

答 感染症病床は6床で運営していましたが、兵庫県の要請により、休床していた病棟を活用して8床を追加し、合計14床で運営しています。

問 新型コロナウイルス感染者の受入れに対するスタッフの配置は。

答 感染症対応に充てた8床のスタッフも、現在勤務している職員で対応しています。呼吸器内科の医師は配置されていませんが、入院患者は中等症以下で、専門医以外の内科医等で十分対応が出来る患者を受け入れています。

問 新型コロナウイルス感染者の受入れに対する収入補償は。

答 入院の場合、一般の入院より高い単価が適用されます。また、感染症病床の確保対策として、ベッドが空いている場合も県からの補助金があります。

問 新型コロナウイルスにより医業収益は減っているが、令和元年度より収支改善している要因は。

答 病床数の減により、1人当たりの入院単価は平均3,000円、外来単価は平均1,000円上がっています。また、退職不補充による人員減や診療材料の単価見直しによる費用の削減、加えて、保守契約の見直しや一部業務を直営にしたことによる委託料の減などが要因であると考えます。

◆討 論

賛成

・コロナ禍での病院経営が大変厳しいことは承知しているが、経営改善のために、やるべきことはきちんとやる姿勢は貫いてほしい。一時借入れが膨れ上がっており、長期借入れのほうが適正であると思うので、結論を出してもらいたい。(建設経済厚生常任委員会)

◆議決結果

全会一致で原案可決

ひとり親世帯への国からの臨時特別給付金の支給

議案第99号 令和2年度加西市一般会計補正予算（第11号）について

◆議案の内容

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、年末年始を迎えるに当たり、ひとり親世帯へのさらなる支援が必要であることから、国からの臨時特別給付金を令和2年中に追加で支給するもの。

【概要】・給付金額：5万円/世帯（対象児童が2名以上の場合、2人目から3万円/人）
 ・支給日：令和2年12月24日

◆質 疑

問 支給対象者について。

答 令和2年8月の支給では203世帯が申請されています。今回も同じ条件での支給となるため、ほぼ同数の対象者となると見込んでいます。

問 8月の支給時に手続しているが、再度申請手続は必要か。

答 8月に支給された方は再度の申請は必要ありません。ただし、支給を辞退されるかどうかの確認を行います。

問 市内のひとり親世帯の現状について。

答 児童扶養手当の現況調査において、203世帯のうち102世帯で収入が減少したと聞いており、約半数が新型コロナにより収入への影響があったものと認識しています。失業等についての相談はなく、雇用への影響は少なかったものと考えています。

◆討 論

なし

◆議決結果

全会一致で原案可決